

【ジングルコーナー原稿99】

『地球連邦軍第六特務機関惑星調査隊の非日常的日常』

作：サイトウヤスナリ

○登場人物

アーリー 女性。任務の為に一番最初に造られたアンドロイド。

標準的な体型で、ウェーブかった長い赤髪が特徴。

スペースシップの艦長。頑張り屋だが、おつちよこちよい。よく泣く。

自他共に認めるポンコツではあるが、

ここぞという時は周りを引っ張るリーダーシップを発揮する。

カーリー 女性。二番目に造られたアンドロイド。

動きやすいように小柄に設計されている。

バッテリーが少ないため稼働時間は短い（つまり寝るのが早い）。

つり目と紫髪のツインテールが特徴。

スペースシップの副艦長。しっかり者で仲間思い。

ゆえに時折り厳しいことを言ってしまうことも。

サーリー 女性。三番目に造られたアンドロイド。

体型はやや華奢で、長い茶髪を後ろで縛っているのが特徴。

視覚による脅威の捕捉を目的として設計されており、

かけている眼鏡はそれを補助するためのもの。

クールな性格で読書が趣味。スペースシップの操縦士。

普段は物静かだが負けず嫌いな一面があり、

勝負事に対しては熱くなることも。

ターリー 女性。四番目に造られたアンドロイド。

標準的な体型で、白髪のボブヘアが特徴。

聴覚による脅威の捕捉を目的として設計されており、

頭には猫を思わせる二つの耳がついている。

ぐーたらな性格で暇さえあれば寝ている。

スペースシップでは索敵管制官として外敵を察知する役割。

○タイトルコール

アーリー 応答願います、おーばー。こちらはジングルコーナーです、おーばー。

カーリー タイトルは

「地球連邦軍第六特務機関惑星調査隊の非日常的日常」だ！

○本編

アーリー こちら、地球連邦軍第六特務機関惑星調査隊。

第6スペースシップ艦長のアーリーです！ 定時通信です！

今から154時間12分前に、

我がスペースシップは惑星105（いちまるご）を肉眼で確認。

でもでも、残念ながら、

ここも地球に代わる惑星ではなかったみたいです。

そのせいで、副艦長・カーリーの機嫌が悪くなって、

操縦士のサーリーと大喧嘩。その際の音声データを再生します。

カーリー ちょっと！これじゃあ、また振り出しじゃない！

なんとか着地しなさいよ！

サーリー それは無理。表面が流体で構成されているから着陸できない。

アナタはアーリーと違ってバカじゃないから、わかってるはずでしょ？

カーリー ぐっ……

これじゃあ、いつまで経っても任務が完了できないじゃないっ！

アーリー （ため息）今でも二人は喧嘩したまま。船内の空気は最悪です。

それから、84時間と54分前には索敵管制官のターリーが、

「超感覚型聴音探知警戒制御機構

（ちようかんかくがたちちようおんたんちけいかいせいぎょきこう）」で

シップに近づく脅威を確認！

私たち4人での迎撃を試みようとしたが、

船内に侵入してきたのは……宇宙猫ちゃんでした。

その時の音声をどうぞっ！

ターリー やばいよ、指令室へと向かってくるよ。

ほら、ドアが開いちゃった。殺される。

カーリー ……って、なによ宇宙猫じゃない。

ターリー この子のどこが脅威なのよ！

ターリー ……だって僕、宇宙猫苦手なんだもん。

アーリー とりあえず宇宙猫ちゃんは、私たちで面倒を見ることになりました。

いつか、任務を完了させて地球に帰還したときには、

総司令も可愛がってあげてくださいね！

カーリー ちよつとアーリー、なにしてんのよ

アーリー なにつて、総司令への定時通信だよ！

カーリー あんたね。もう私たちが宇宙に出てから200年が経ったのよ。

総司令なんて、とつくに死んじゃってるわよ

アーリー あーそつか！ 私たちと違って、人間は長生きできないもんね！
カーリー ほら、はやく任務に戻るわよ。

アーリー はい！ あ、以上、定時通信でした！

○エンディング

サーリー 竹内順子の Take a Chance ラジオ！

ターリー 響ラジオステーションで好評配信中

カーリー役、〇〇と、

サーリー役、〇〇と、

ターリー役、〇〇と、

アーリー役、〇〇がお送りしました！